

4. 調査結果の考察と今後の取組み

(1) 教育委員会の重点教育課題

平成21年度 重点教育課題

平成21年度は、『豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成』を目標とし、「確かな学力の確立」、「豊かな心のはぐくみ」、及び「特色ある、安全で安心な学校園づくり」を重点教育課題に位置付けております。また、個に応じたきめ細かな指導を効果的に行うとともに、学校の教育活動全体で、児童・生徒一人ひとりに応じた学びの機会の充実を図り、適切に指導・支援することをめざしています。

各学校園においては、自らの手で新しい教育を創造していくという自覚のもとに、特色ある教育、特色ある学校園、そして特に安全な学校園づくりを進めます。

かけがえのない子どもたちの「学び」を育むためには、学校と家庭や地域社会が連携し、理解と協力を得ながら教育活動を展開することが何よりも重要であると考えています。

教育には、「確かな学力」の確立と、「豊かな心」を基盤とした「生きる力」の育成が肝要であると考えています。

すべての学校では、学習指導要領の趣旨を踏まえ、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着や自ら考える力の育成などをめざしています。「確かな学力」を確立するための「学び」と、他人を思いやる心や規範意識及び自然や美への感性など、「豊かな心」のはぐくみに取り組んでいます。

(2) 調査結果から見えること

子どもの生活面・学習面での課題

- ✚ 基礎・基本を生かした活用力
- ✚ 学習に対する関心・意欲・態度を高めること
- ✚ 家庭学習の定着や読書の習慣づけ
- ✚ 基本的な生活習慣の確立
- ✚ きまりや規則を守る規範意識の醸成
- ✚ ものごとを最後までやりとげる喜びや達成感を得ること

(3) 教育委員会の取組み

藤井寺市教育委員会では、平成21年度全国学力・学習状況調査等の分析をもとに、「確かな学力の育成」をめざす取組みの更なる充実を図ります。

具体的な取組み

指導方法の工夫・改善

- ✚ 少人数指導
- ✚ 習熟度別指導
- ✚ 繰り返し学習
- ✚ 問題解決学習への取組み

- 基礎・基本の定着
- 基礎・基本を生かした活用力の育成

学力向上推進協議会の充実

- ✚ 平成16年度より、学力向上方策のための情報交換及び研究協議等を開催

「各教科における国語力の育成」等をめざした市主催教職員研修の充実

平成21年度

- ✚ 「算数科・数学科における言語力の育成について」 (教育講演会)
- ✚ 「国語力の育成 ~ 表現力・コミュニケーションの育成 ~」(教育課題別研修)
- ✚ 「活用力の育成 ~ 授業の組み立て・発問をとおして ~」 (教育課題別研修)

地域人材や学生等の効果的な活用

- ✚ 学校支援社会人等指導者活用事業
- ✚ 読書推進サポーター派遣事業
- ✚ スクールフレンド(大学生等)活用事業

- 子どもたちとの関わりや活動を通して、学習補助やメンタル面等の支援をおこなう

地域教育推進連絡会・学校協議会の充実

- ✚ 学校・家庭・地域の連携による子どもの健全育成をめざした教育コミュニティづくりの推進
- ✚ 保護者や地域住民の支援をもとにした学校運営の充実・改善及び開かれた学校づくりの推進

大阪府や国事業の積極的な活用

- 【国】外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方等に関する実践研究事業
- 【府】学力向上推進校支援事業 (藤井寺南小学校)
- 【国】学校支援地域本部事業 (地域全体で学校教育を支援する体制整備：全中学校)
- 【府】市町村支援プロジェクト (藤井寺市学力向上推進支援事業研究指定校以外の学校)
(児童・生徒の実態に応じた指導方法、授業改善等の研究：小学校4校、中学校3校)
- 【府】いきいきスクール (小中連携の充実：道明寺中学校 道明寺東小学校)
- 【府】まなび舎事業 (放課後等を活用した学習支援：全小・中学校)
- 【府】おおさか元気広場推進事業 (藤井寺南小学校・藤井寺西小学校・藤井寺北小学校、道明寺東小学校)
- 【府】大阪府中学校生徒会サミット (全中学校)

(4) 各学校の取組み

調査結果・分析結果について

- ◆ 各学校では、全国学力・学習状況調査の結果を分析し、成果や課題を協議・検証しています。全教職員が子どもの実態を的確に捉えるなど、学校全体でその分析結果を活用することにより、指導計画の作成、指導方法の工夫改善及び校内研修への取組み等、今後の教育活動に生かします。

- ▶ 少人数指導や習熟度別指導等、個に応じたきめ細かな指導の充実
- ▶ 長期休業中や放課後における補充学習等、学力向上のための取組み
- ▶ 「つまづき調査」等による、児童・生徒の状況把握
- ▶ 「計算練習」や「漢字練習」等、繰り返し学習の継続

- ▶ 「朝の読書」や「読み聞かせ」等、読書活動の充実
- ▶ 「自然体験活動」や「職場体験学習」等、
社会体験を重視した学習の充実
- ▶ あいさつ等、基本的生活習慣の確立

藤井寺市学力向上推進支援事業《アップロ3(Upro3)》

- 市内3中学校区の中で1校を指定し、児童・生徒の実態に応じた指導方法の工夫改善や授業力の向上に向けた取組みや研修の充実等について、全教職員で研究する。
- 研究発表会を通して、中学校区内の幼稚園・小学校・中学校とともに研究協議をおこなうなど、藤井寺市の教育のあり方を醸成するとともに、取組みの成果を発信・普及する。

研究指定校

藤井寺中学校区 藤井寺南小学校
【研究発表会】『伝える・つながる・学びあう』
平成21年12月10日(木)

道明寺中学校区 道明寺小学校
【研究発表会】『コミュニケーション能力の育成』
平成22年1月28日(木)

第三中学校区 藤井寺北小学校
【研究発表会】『基礎学力を大切にした国語科の学習』
平成21年12月2日(水)

アップロ3とは・・・
3つのproを大切にします。

process (学びの過程)
を大切にし、
professional
(教員の専門性)を發揮し、
progress
(学力の向上)をめざします。

(5) 教育委員会からの提言

学校教育について

学校や子どもを取り巻く状況は、各学校によって違います。また、子ども一人ひとりの課題等も違います。だからこそ、それぞれの学校においては、子どもの状況を的確に把握し、教職員の共通理解のもと分析・検証を行い、課題解決に向けた取組みを進めていくことが必要です。

1. 基礎的・基本的な『知識・技能』の定着

学習指導にあたっては、基礎的・基本的な知識・技能を習得させることが重要です。

- 始業前の時間帯等を活用して、年間を通して継続的・系統的に反復練習をおこなう。
- 朝読書や読書集会の開催を行う等、全校を挙げて読書意欲を喚起し、読書活動の充実に向けた取組みをおこなう。

2. 思考力・判断力・表現力等、『活用力』の育成

基礎的・基本的な力を定着させ、活用力をのばす授業作りが求められています。

全ての教科指導や活動の場で・・・

- 児童・生徒どうしの伝え合う場を積極的に設け、「伝えたい事を整理する」「自分の考えの根拠をはっきりさせながら話す」ことなどを繰り返し指導する。
- 児童・生徒に疑問をもたせる視点から学習課題を設定するとともに、自分の考えを発表する場を積極的に設ける。
- ノートのとり方の指導を通じて「書くこと」の基本的な技能を習得させる。自分の考えた過程が見えるようなノートのとり方を指導するなど、筋道を立てて物事を考えるようにさせるとともに、『書く能力』を育てる。

3. 規範意識の向上、授業規律の確立

学習に臨む、姿勢・態度・意欲を育てていくことは大切です。

- 板書の工夫、ノート指導、指示や発問の出し方等、教員の指導力向上をめざす。
- 児童・生徒の作品等を計画的に掲示するなど、学習環境の整備に取り組む。
- 児童会・生徒会を活性化し、子ども相互による自治意識を高める取組みを行う。
- 全教職員による道徳教育の充実を図る。

4. 児童・生徒や保護者との信頼関係の構築

- 各学校における取組みの推進とともに、取組みの趣旨等を児童・生徒や保護者に対して積極的に発信する。

家庭教育について

学力や学習意欲の向上には、規則正しい生活習慣や学習習慣の定着を図ることが重要です。

基本的な生活習慣の確立

生活リズムを規則正しくすることにより、
全ての活動に対する『意欲』が生まれます。

- 食事と睡眠をしっかりとすることは、大切です。
 - ◇ 朝ごはんを、毎日食べましょう・・・
 - ◇ 早寝、早起きの習慣をつけましょう・・・
 - ◇ 体を動かす機会をつくりましょう・・・

いのちを

はぐくむ

- ・食育の充実
- ・健康面の
保健指導
- ・体力向上の
取組み

家庭学習の習慣化

家庭学習の習慣化により、
学ぶことの『意味や楽しさ』に気がきます。

- 目標に向かい取り組む姿を認めることが、大切です。
 - ◇ テレビ・ゲーム・メール等は 時間を決めましょう・・・
 - ◇ 本を読む時間をつくりましょう・・・
 - ◇ 毎日、決まった時間に学習しましょう・・・

自主性を

はぐくむ

- ・学力定着に向けた宿題提示
- ・放課後や
長期休業中
における
『学びの
場づくり』

心の居場所づくり

家族の言葉かけや関わりにより、
子どもたちの心は『安定』します。

- 大人の支えや励ましが、本当に大切です。
 - ◇ 子どもの 良いところを見つけ、伸ばしましょう・・・
 - ◇ 子どもと夢を語る時間を大切にしましょう・・・
 - ◇ 目標に向かって努力する事の
大切さを伝えましょう・・・

自立心を

はぐくむ

- ・教育相談の
充実
- ・キャリア教育
や進路指導
の充実

教育委員会からの提言

全国学力・学習状況調査の分析から、基本的な生活習慣や学習環境等は、学力と深い関係があるのではないかと思います。生活習慣が学習の基盤となることを踏まえ、ぜひとも、子どもと向き合い、家庭での目標を決めましょう。

子どもたちが、心身ともに健やかに成長していくために、おとなである家庭・地域・学校の三者が連携し、それぞれが責任を持って育てていくことが大切です。

【 子どもを伸ばす5つのやくそく 】

◆ 子どもを見つめること

- ◇ 子どもの **良いところを見つけ**、伸ばしましょう
- ◇ **子どもと夢を語る** 時間を大切にしましょう

◆ 基本的な生活習慣をつけること

- ◇ **早寝・早起き** の習慣をつけましょう
- ◇ **朝ごはん** を毎日食べましょう

◆ きまりや約束を守るなど規範意識を高めること

- ◇ **挨拶** をきちんとしてみましょう
- ◇ **きまり** を守りましょう

◆ 時間を大切に使うこと

- ◇ テレビ・ゲーム・メール等は **時間を決め**ましょう
- ◇ **本を読む時間** をつくりましょう

◆ 家庭学習を定着させること

- ◇ 宿題など自分から **進んで勉強** しましょう
- ◇ 学校に持っていくものを **必ず準備** しましょう

おうちでじっくり、
子どもと話して
いますか!!

藤井寺市教育委員会では、全国学力・学習状況調査（3年間）の分析及び検証を教育施策の充実に生かすとともに、課題解決に向けた新たな教育施策に反映してまいります。

今回の調査結果において、特に小学校で、学力の向上が見られました。これは、本市で取り組んでいる「指導方法の工夫改善」や「授業力向上に向けた取組み」など、個に応じたきめ細かな指導による成果があらわれたものであると考えます。また、保護者や市民のみなさまが、ともに生活習慣の改善、教育活動への支援に努めていただいた結果であると考えています。中学校では、学年が上がるにつれて、学習の積み重ねが必要となり、すぐには成果があらわれにくいものであると捉えています。

今後も、子どもたちが身につけなければならない「確かな学力」の育成に努めてまいりますので、保護者や市民のみなさまのご理解・ご協力・ご支援の程、よろしくお願いいたします。

【 参考資料 】

（ 文部科学省通知等 ）

- ◆ 平成 21 年度 全国学力・学習状況調査の実施について
 - ・ 文部科学事務次官通知（平成 20 年 12 月 24 日付 20 文科初第 1067 号）
- ◆ 平成 21 年度 全国学力・学習状況調査の結果の取扱いについて
 - ・ 文部科学省初等中等教育局長通知（平成 21 年 8 月 24 日付 21 文科初第 6682 号）

（ 文部科学省ホームページ ）（ http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/gakuryoku-chousa/index.htm ）

- ◆ 平成 21 年度 全国学力・学習状況調査の概要
- ◆ 平成 21 年度 全国学力・学習状況調査結果について
 - ・ 平成 21 年 8 月 28 日更新

（ 国立教育政策研究所教育課程研究センター ）（ <http://www.nier.go.jp/index.html> ）

- ◆ 平成 21 年度 全国学力・学習状況調査の調査結果について
- ◆ 平成 21 年度 全国学力・学習状況調査の調査問題について
- ◆ 平成 21 年度 全国学力・学習状況調査の正答例について
- ◆ 平成 21 年度 全国学力・学習状況調査の解説資料について
- ◆ 『全国学力・学習状況調査において特徴ある結果を示した学校における取組事例集』

（ 大阪府教育委員会 ）（ <http://www.pref.osaka.jp/kyoikusomu/homepage/index.html> ）

- ◆ 保護者・地域とともにはぐくむ 大阪の子どもたちの学力（ Part 1 ・ Part 2 ・ Part 3 ）

編 集： 藤井寺市教育委員会 教育部 学校教育課
TEL：(072) - 939 - 1402